

政務活動費支出簿

経費の範囲 の項目	調査研究費
--------------	-------

[illegible]

領 収 書

綾部市議会

様

¥ 3,000

但し、ガイド交通費として

2019年 / 月 3 / 日

石巻観光ボランティア協会
会長 齋藤 敏子

請 求 書

民 政 会 様

(株)ビーエス観光福知山営業所

〒620-0940福知山市駅南町三丁目57番

駅南第一ビル2F

TEL0773-23-5055

摘 要	単価	数量	合計	備 考	
ジャンボタクシー代3日間	170,650	1	170,650	1/30～2/1	
有料道路代立替分	9,880	1	9,880	1/30～2/1 回送時含む	
飛行機・ホテルセットプラン	38,600	5	193,000	往復航空券代・仙台宿泊代	
飛行機・ホテルセットプラン	39,100	1	39,100	〃 安藤様分	
1/30 石巻グランドホテル	7,344	6	44,064	宿泊代	
456,694				担 当 者	カルテNO
				吉見	18630

同封の郵便振込用紙ご利用の上、2月20日までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。

銀行振込みの場合

京銀現金自動預金支払機

ご 利 用 明 細 書

●本日は京銀をご利用いただきありがとうございます●

お 取 扱 日	時 刻	お取扱店番・ご利用内容	
310306	1156		
お取引銀行	お取引店番	お取扱番号	科 目 ・ □ 座 番 号
		2183	
振 込 通 番	振込手数料	金 額	
I000023	¥216	¥456694	
メッセージコード(銀行使用欄)	残	高	

お振込先			
ご依頼人			
アヤハシキカイ ミンセイカイ 様			
0773-42-3280			
ご案内	[お知らせ欄]		
	お つ り		

平成 3 1 年 1 月 2 5 日

綾部市議会議長 様

会派名 民政会
代表者氏名 種清 喜之

研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

1 日 程	平成 3 1 年 1 月 3 0 日（水）～ 2 月 1 日（金）
2 行 先	宮城県仙台市、石巻市、山形県寒河江市、福島県相馬市
3 目 的	①LNG の有効性（仙台市） ②被災地復興の現状（石巻市） ③日曜窓口の有効性（寒河江市） ④自治体主体の発電事業の仕組み（相馬市）
4 内 容	①新仙台火力発電所視察 ②石巻市の被災地視察 ③寒河江市の日曜窓口実施状況の視察 ④相馬市の市と民間による合同出資会社「そうま I グリット合同株式会社」視察（再生可能エネルギーの発電及び売電会社）
5 概 算 経 費	5 0 0 , 0 0 0 円
6 参加議員名	種清喜之、片岡英晃、安藤和明、本田文夫、酒井裕史、藤岡康治
7 参考資料等	

平成 31 年 3 月 20 日

綾部市議会議長 様

会派名 民政会
代表者氏名 種清喜之



研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

記

1 日 程	平成 31 年 1 月 30 日（水）～ 2 月 1 日（金）
2 行 先	宮城県仙台市、石巻市、山形県寒河江市、福島県相馬市
3 目 的	①LNG の有効性（仙台市） ②被災地復興の現状（石巻市） ③日曜窓口の有効性（寒河江市） ④自治体主体の発電事業の仕組み（相馬市）
4 内 容	①新仙台火力発電所視察 ②石巻市の被災地視察 ③寒河江市の日曜窓口実施状況の視察 ④相馬市の市と民間による合同出資会社「そうま I グリット合同株式会社」視察（再生可能エネルギーの発電及び売電会社）
5 支出経費の内訳と金額	現地移動経費 180,530 円 宿泊・交通費 276,164 円
6 参加議員名	種清喜之、片岡英晃、安藤和明、本田文夫、酒井裕史 藤岡康治
7 活動成果の概要、所見	研究研修・調査報告書 ①新仙台火力発電所視察 新仙台火力発電所は、平成 28 年度に完成し、世界各地から LNG を受け入れ、発電事業を実施されている。最新の高出率コンバインドサイクル発電設備での発電を行っており、LNG を使用することで、硫黄酸化物や煤塵の発生がない。発電設備もみせていただいたが、廻りを建屋で多々こ

囲り

とで、騒音も押さえられていた。

京都府では、舞鶴港を拠点とした、LNG パイプラインの整備が検討されており、ガス発電設備についても検討されている。今回の視察先とは規模は違うが、実際に LNG 発電設備をみせていただいたことは大きな成果であった。

②石巻市の被災地視察

石巻観光ボランティアの方に案内していただき、石巻南浜地区を視察。地域を見学した後、NPO 法人が設立した南浜つなぐ館を見学し、当時の様子等をお伺いした。まだまだ、復興道半ばと言うことを実感した。

南海トラフ地震の発生がいわれている。また、綾部市でも昨年 7 月に豪雨被害を受けた。災害はいつ発生するかわからないため、日頃の備えが重要であると感じた。

③寒河江市の日曜窓口実施状況の視察

寒河江市では、平成 25 年 1 月 6 日から年末年始を除く、日曜日 8 時 30 分～12 時まで、日曜窓口を開設されている。以前は、綾部市と同様に、平日での延長窓口を実施されていたが、利用者も少ない状況であった。市民から土曜日・日曜日の証明書交付希望があり、住民アンケートを実施したところ、土日の午前中を希望される声が多く、実施に至った。日曜窓口の実績として、平成 29 年度では、52 回実施し、1,750 件の利用があった。開設に伴う経費としても、非常に安価であり、職員の負担についても、過度な負担とならないよう配慮されているとのことであった。

綾部市でも、現在、平日の延長窓口を実施しているが、利用状況等を調査し、市民サービスの向上のためにも、日曜窓口実施を検討すべきだと感じた。

④相馬市の市と民間による合同出資会社「そうま I グリット合同株式会社」視察

相馬市では、民間企業と共同し、そうま I グリット合同会社を設立し、エネルギーマネジメントにより太陽光発電電力の地産と最大消費を実践し、再エネを推進されている。施設では、太陽光発電、水素による発電を行い、隣接している下水処理場へと電力を供給されていた。

この事業で注目すべきは、民間企業が出資し、研究拠点としても活用されていることであると感じた。行政側としても、研究拠点ということもあり、児童生徒が科学に興味を持つきっかけにもなり、また、自ら発電し自らが消費することで、電気料金の削減にもつながっている。

綾部市としても、LNG ガスパイプラインを契機に、民間と協力し、地域で作ったものを地域で消費し、循環するシステムを作っていく必要があると感じた。

8 成果物資料 等	資料及び写真添付
--------------	----------